


山行報告書

山行報告者：東海林

山域・山名： 生瀬富士 (406m)		茨城県大子町
入山日又は期間：令和5年1月15日(日) ・日帰り		
プラン担当者： 正：高山 副：簗島		
参加者	L：高山 記：東海林 簗島、深谷、東海林 鈴木、久保、田村 男 3名、女 4名、計 7名	
天候：晴れ		
1月8日 (土)	集合時間：午前 6時 集合場所：大宮駅西口ことぶき 大宮 6:00・・・東北自動車道矢板IC・・・矢板バイパス・・・塩谷喜連川線 74号・・・袋田の滝第一駐車場 9:13・・・10:40 生瀬富士 10:55・・・12:35 滝上展望台 13:10・・・渡渉 13:22・・・月居山分岐 13:34・・・袋田の滝 14:10・・・袋田の滝第一駐車場 14:45)	
装備と食糧	共同装備：ツエルト (簗島、東海林、久保) 共同食：なし 車提供者：簗島 鈴木	
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、軽アイゼン ストック、スパッツ、飲料水、 個人食：昼食	
感想&注意事項	<p>前日に天気安定せず決行するか危ぶまれましたが、実際はお天気にも恵まれました。駐車場から登山者は見当たらず貸し切り状態でスタート。上り始めは歩きやすい傾斜の登山道で、生瀬富士の手前になると岩壁が現れ細いロープが垂れていて気を付けながら登り生瀬富士に到着。左側にある茨城のジャングルムに向かうと細い岩尾根で恐ろしい。ジャングルムを超えると、奥穂高のジャングルムと同じプレートがあったらしいが無くなっていた。見られず残念。滝上展望台で滝を眺めながら昼食を取り、袋田の滝上流へ向かう。地図上で何度かピークがあり大したこと無いと思っていたが、高低差のアップダウンで疲労する。袋田の滝の渡渉は凍ってなく水も多くなかったが、安全のためストックを出し滑らないように渡渉する。凍っているところも見なかった。登山もあとは下山のみと思っていたら、上りがありがっかりする。踏ん張って上りきり、階段で下りるとようやく袋田の滝に到着。岩肌に滑らかに流れる滝は優しい滝でした。</p> <p>車に乗りしばらくすると待ってましたと雨が降り始めました。</p> <p>山行中に当たらず本当に良かった。晴れ男、晴れ女効果でしょうか。笑</p> <p>後日、TVで生瀬富士の放送があり、ルートは違っていたが歩いた同じ景色が映ると、自分の目線とは違う高い位置からの映像は、実際よりも難しい道に感じました。</p> <p>高さが406mでしたがスリルのある楽しい山でした。ありがとうございました。</p>	